

ICT活用レポート！

第（ 1 ）学年 （ 算数 ） 科 単元名「 おおきさくらべ ⁽¹⁾ 」での実践		
項目	内容	
ICT 活用の場面	【問題提示】 2本の鉛筆を見せ問題場面を把握させる場面 【協働解決】 どのようにすれば長さの比較ができるか児童が説明する場面	
使用した ICT 機器	・実物投影機 ・テレビ	
具体的な方法	①赤鉛筆と青鉛筆をズームで拡大して提示 （あえて端が画面外になるように映す） ⇒「このままでは比べられない」児童のつぶやきをもとに学習課題へ ②どのようにすれば長さを比較できるか、考えた方法を学級全体に説明する際に、実物投影機を用いる。 ⇒端を揃える操作、重ねる操作を視覚的に見せることで直接比較の技能の確実な習得につなげる	
成果と課題	○成果	△課題
	○動きのある問題提示を行うことでスムーズな問題場面の把握につながった。 ○児童全員の視線を集めることができる。児童の考えや説明が音声だけでなく、手元の操作も一緒に伝わることは大きな意味があった。	△比較に用いるひもの長さをもう少し短くする。児童机に収まる長さにする。
感想や改善策	・実物投影機についてはいつもの授業と同様に今回の学習でも活用した。拡大してあえて端を画面外になるようにした問題提示がとても有効であった。簡単にできる問題提示の方法で、効果的な物が一番よい。今回の導入のパターンでは大きな準備などは必要なく、児童に伝えたいことを焦点化することができた。	

